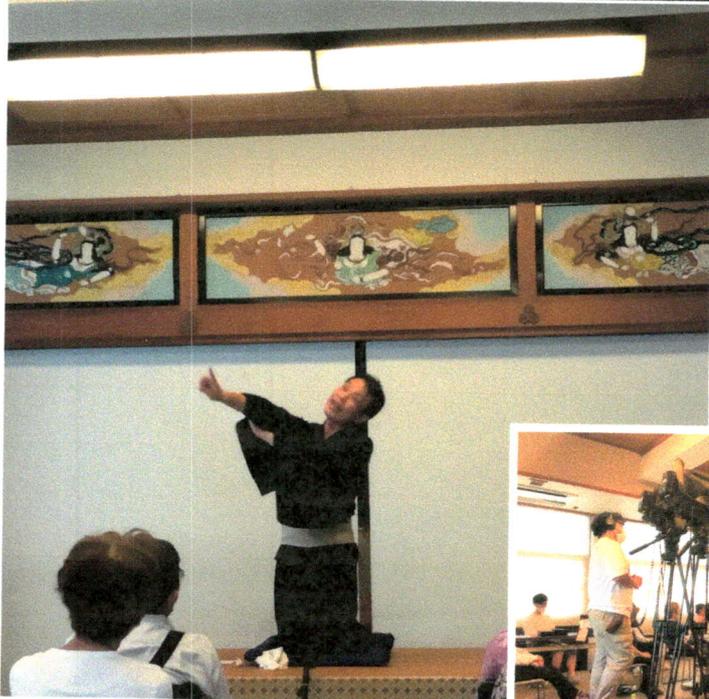


# 寺とも落語会

去る10月2日(日)午後1時半～徳成寺において、寺とも落語会が開かれました。最高気温が30度の真夏日になる一日でしたが、大勢の皆さんにお集まり頂き、笑いの渦が起きました。この日は、高松ケーブルテレビの収録もあり、11/7(月)からの一週間、この日の様子がケーブルテレビで放送される予定です。ご覧いただける方は、どうぞお楽しみください。



座布団一枚、扇子と手ぬぐいで物語を表現する落語の世界ですから、全身を使ったオーバーな

な表現をすることもあります。上の写真は、どんぐり亭ぼりすさんの「桃太郎」のワンシーンです。右の写真は、耕亭幸ん喜(たがやしていこうんき)さんの「大山詣り」のワンシーン。神奈川県の大山に出かけた江戸の若い衆が繰り広げる大騒ぎの噺です。



香川三味線界のビューティーペア「はなより」さんによる端唄(はうた)・都々逸(どどいつ)・民謡を中入りの場面で、演奏して頂きました。「三日月さまでも～♪ご苦労なさる♪あんなにお痩せになってゆ～く～」と。見事な都々逸に聞き惚れました。



トリは、香川アマチュア落語界のリーダー酔亭藪太郎さんによる「高津の富(こうづのとみ)」です。時代劇が近年放送されなくなり古典落語への親しみが失われ、一両などのお金の単位も分からなくなった現代ですが、宝くじに夢を抱くところは、今も江戸時代の昔も変わりありません。宝くじがひょんなことから当たってしまう滑稽噺でした。

